

(別紙3)

事業所名 グループホーム エルーセラ

目標達成計画

作成日: 令和2年10月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	消防署や警察といった地域の関係機関の参加者を増やすことで、地域との関係性を新たに展開していくことを期待します。	新型コロナウイルスが落ち着いたら当施設の運営推進会議の場にて、地域住民とその地域の交番警察官の関係を深めることで地域の防犯力を高め、それが当施設の防犯力アップにつながるとよい。	最寄りの交番警察官と話し合い、新型コロナウイルスが落ち着いたら運営推進会議へ参加していただき、防犯の話をしていただくようお願いしました。	6ヶ月
2	36 (14)	職員は利用者への対応で言葉などの乱れがないよう、引き続き接遇研修を行うことを期待します。	1. 不快感を与えない。 2. 自尊心を傷つけない。 3. 傾聴、共感、受容により信頼関係を深める。 上記内容を日々の社内研修にて職員全員に浸透させる。	朝の申し送り時に、職員全員で左記3つの目標を声に出し、最後に、「今日も誠意を持って穏やかに過ごせるような声掛けをしましょう。」と全員で声に出す。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月